

# 建築研究所ニュース



平成20年10月1日

## 四川大地震の復興支援のため、中国から7人の研修生を受け入れ （「第49回国際地震工学通年研修」を開講します）

独立行政法人建築研究所では、毎年、開発途上の地震国から若い研究者や技術者を招き、「国際地震工学通年研修」などの地震学・地震工学・津波に関する研修を国際協力機構（以下「JICA」という。）等と協力して行っており、これまでに95ヶ国から1,357名の研修生を受け入れていています。

この度、11カ国から22名の研修生を迎え、「第49回国際地震工学通年研修」を開講します。この研修は、建築研究所及び政策研究大学院大学、JICAとの連携により、所定の単位を取得すれば、修士号学位の取得が可能な研修として実施しており、研修期間は来年9月までの約1年間です。

今回は、今年5月の四川大地震により大きな被害を受けた中国から、7名の研修生を受け入れる事になりました。これは、四川大地震に対する我が国の復興支援策の一環として実施するものです。中国からは、これまでに研修生38名を受け入れており、昨年、この研修に参加した研修生は、帰国後、四川大地震の現場で、日本で習得した知識や技術を活かし、被害調査に尽力し、この研修の成果が、帰国後、研修生の職務に活かされている事が、本年5月に新聞報道されたとおりです。

当初、中国からの研修生は、2名を受け入れる予定でしたが、復興支援策の一環として、急遽、さらに5名を受け入れる事になりました。なお、この5名は、10月10日頃に来日する予定です。

来日した研修生は、10月2日（木）にJICA筑波で研修開講式に出席し、1年間の研修を開始する予定です。

来年9月には、研修修了生が、母国に帰国し、地震防災対策、津波防災対策等の専門家として、災害被害の軽減のため活躍されることが期待されています。

<参考1：開講式の日程>

第49回国際地震工学 通年研修 開講式

日時：平成20年10月2日（木）16:30～17:00

場所：JICA筑波国際センター（JICA筑波）

（つくば市高野台3-6、電話：029-838-1115）

<参考2：研修生の出身国名（11ヶ国）>

- ・中国、エルサルバドル、インド、インドネシア、マレーシア、モザンビーク、ミャンマー、パキスタン、ペルー、タイ、トルコ

**（内容の問合せ先）**

独立行政法人建築研究所

所 属 国際地震工学センター  
管理室長

氏 名 櫻 澤 昌 二

電 話 029-879-0678(直通)

E-mail [sakuraza@kenken.go.jp](mailto:sakuraza@kenken.go.jp)

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。